

鹿島小だより

第65号 平成31年2月26日（火）発行 文責：鈴木

【電話】0244-46-2240【ホームページ】<https://minamisoma.fcs.ed.jp>

平成30年度重点目標「話し合おう やってみよう」

国語の学習のまとめとして



もうすぐ2月が終わり3月がやってきます。卒業式まであと1か月を切りました。それぞれの学年では、学習のまとめに入る時期です。特に国語は、すべての学習の基礎になるものです。1年生では「だっだっのおばあさん」、2年生では「スーホの白い馬」、3年生では「もちもちの木」、4年生では「初雪のふる日」、5年生では「わらぐつの中の神様」、6年生では「海の命」を学習します。どの作品も、この1年間の締めくくりとして適した教材です。また、これらの原作本は、図書室や中央図書館などで手にすることができます。素敵な文学作品にふれて、主人公や登場人物の気持ちを想像したり、その表現の豊かさやおもしろさを味わったりすることも、国語の学習の楽しさです。読書に親しむことは、表現力や語彙力を伸ばすことにもつながります。時間を見つけていろいろな作品を読んでほしいと思います。

12年後のわたし

6年生は図工の時間に、「12年後のわたし」という題材に取り組んでいます。これは、12年後の自分の将来を予想し、紙粘土を使ってその思いを立体で表現する活動です。6年生も卒業間近で、目の前には中学校での生活が待っています。12年も先（24歳の頃）のことなんてなかなか想像できないかもしれませんが、スポーツ選手や保育士、花屋さんなど、自分が目指す姿を一人一人が考え表現していました。針金で骨組みを作ってからそこに紙粘土をつけていくので、力強さがあります。また、そこに絵の具で色をつけていくので、リアリティーが出てきます。さて、12年後のあなたは一体どんなふうになっているのでしょうか。それぞれが思い描く自分の夢や理想がぜひ実現するよう頑張ってください。《裏面もご覧ください》



授業参観にお越しください

3月1日(金)は、今年度最後の授業参観です。この日は午前中が県立高校の卒業式ですので、お忙しいご家庭があることと思いますが、小学校でのこの1年間のお子さんの成長の様子をご覧いただきたく、保護者の皆さんはどうぞ足をお運びください。